(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和 4 年 4 月 6 日　　企業･団体名：株式会社 丸昇農材

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ･性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		･社長直下に専門組織を設置し、採用、教育、昇進･登用、福利厚生などあらゆる雇用条件での差別がないことをモニタリング、是正する体制を構築すると共に社員からの相談窓口として機能している。 ･目安箱制度（企画･提案制度）を設け積極的な意見収集を行っている。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ･セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		･社長直下の専門組織が、社内ルールの作成、運用監視、コントロールを行うと共に、相談窓口としての機能を有している。 ･目安箱制度（企画･提案制度）を設けハラスメントについての相談を積極的に収集している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ･男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		･パートタイム勤務や時間単位で使用できる有給休暇制度の設置、有給休暇の取得奨励等、共働き家庭や、育児、介護等に社員が柔軟に対応できる勤務時間環境を整えている。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ･外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		･自社には外国人労働者は就労していないが、顧客職場で外国人労働者が就労していることもあるため、外国人労働者等の差別禁止について、会議などの場で全社員向けに周知している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ･業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		･全社員が参加する毎日の朝礼の中で、必ず安全唱和を実施し注意喚起を行っている。 ･週次、隔週次に行われる部門別会議で、KY活動実施指示等安全啓蒙活動を行っている。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ･労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		･目安箱制度（企画･提案制度）の中で、社員のメンタルな問題についてのアラームを察知できるように積極的に意見収集を行っている。			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ･多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		･現在全社員中、女性社員が30%（管理職2名）、高齢者10%が活躍している等、多様な人材を採用し活躍できる環境を整備している。 ･【予定】今後も適材適所で積極的に採用、昇進等を進める。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ･適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		･業務上必要な資格取得のための受験費用を会社負担としている。 ･【予定】今後は業務に関連する個人的なスキルアップを図る目的の資格取得や学習についての助成金制度の創設を進める。				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ･雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		･働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員（正社員･パート社員）の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ･従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	･社長直下に設置した専門組織が実施する目安箱制度（企画･提案制度）により、従業員の不満や改善意見を積極的に吸い上げて、その改善策と共に経営陣に提案する活動を行っている。			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ･新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	･採用面談や商談等の外部打ち合わせ等については、極力WEBを使用している。			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ･労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	･業務改善の一環として、メールソフトの活用等DXを推進している。								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ･廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		･社内廃棄物については、分別し適切な処理を行うように周知徹底している。 ･業務用廃棄物については、専門業者に回収依頼すると共に、事前の分別も徹底している。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ･電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		･太陽光パネル設置、LED使用を徹底し、オフィスの節電に取り組んでいる。 ･エアコン設定温度をこまめに確認し、過剰な温度とならないようにしている。 ･【予定】エネルギー使用量を把握し、使用効率化に向けた取り組みを進める。							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ･自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		･エアコンの設定温度をこまめに確認し、過剰な温度とならないようにすると共に、クールビズ･ウォームビズに取り組んでいる。 ･【予定】簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出し、削減の計画を策定する。							7.2 7.3					12.4	13.3				

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・事業上発生する有害物質を特定し、関係法令に基づき、リスクアセスメントを実施し、その結果に基づいて対策を講ずるよう取り組みを進める。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・工事実施時には、最大限環境に悪影響を与えない様に準備し作業を進めるように努めている。 ・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に努めている。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・再生用紙の利用、ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・事業活動や従業員の行動において、プラスチックやレジ袋などの使用削減に努めるよう社員教育を徹底している。												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●							6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●													12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・できるだけ省エネ効果の高い機器を導入している。 ・社内電灯等にソーラーパネルによるバッテリーを利用している。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●		1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職・贈収賄禁止等について、各種会議を通して防止意識の社内浸透を図っている。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・特許、商標等知的財産権の取得・管理をしている。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報保護に関するガイドラインを作成し、各部門に配布し部内周知を指示している。 ・部門会議や朝礼の中で注意喚起し、情報漏洩防止を徹底している。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●																	16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サー	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・施工、メンテナンス等に当たっては、チーム全体で安全性を確保した計画に基づいて作業を行っている。			3.9									12.4					

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
ビス	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・品質は顧客満足に直結するため、CS活動を推奨し、顧客の声を共有し事業活動に反映することの重要性を各部門に周知している。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・再生用紙利用を推進している。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●							6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・従業員の訪問活動の中で、地元住民の声や地域への影響等の把握を行い事業活動の改善に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●					4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●									8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・朝礼、部門会議等で、法令遵守（コンプライアンス）の重要性を全従業員に向けて発信している。 ・社長直下の専門組織を中心にしてコンプライアンス意識の醸成、啓発活動を行っている。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念を明文化し、経営者が会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・社長直下に設置した専門組織が担務することとしている。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・従業員の訪問活動の中で、顧客の声（特に苦情）を積極的に聴取し、適切なフィードバックを行うようにしている。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・社長直下に設置した専門組織が状況を監視・コントロールする体制としている。																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・社長直下に設置した専門組織がリスクマネジメントの運用を進めている。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・社長直下に設置した専門組織が対応を進めている。																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・BCMの一環として、昨年本社移転を行った。 ・【予定】今後もリスクマネジメントを通して、BCPの策定等必要な対応を進める。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
持続可能な社	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・南海トラフ地震を想定し安全地域に昨年本社移転したが、引き続き従業員にハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1			16	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
会・地方創生	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・部門会議や全社員会議でSDGsに関するトップのコメントを発信し、社員全員に意識浸透させている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・高知県移住促進・人材確保センターを通じ、都市部などからのUIターン人材を積極的に採用している。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・実態として、多くの地元住民の就業場所として機能している。								8	9		11						